

**農地法第5条
届出の記載例**

港境 港境
余白に捨印を押印してください。

農地法第5条第1項第7号の規定による農地転用届出書

令和 2年 1月 25日

境港市農業委員会会長 様

譲受人 (賃借人・借人) 港 境 二 郎 印
譲渡人 (賃貸人・貸人) 境 港 太 郎 印

下記のとおり転用のため農地 (採草放牧地) の権利を設定 (移転) したいので、農地法第5条第1項第7号の規定により届け出ます。

賃借人・借人、賃貸人・貸人の別を記入してください。
設定または移転の文字を訂正してください。

1 当事者の住所等	当事者の別		氏 名		住 所		職 業		
		譲 受 人	港 境 二 郎	境港市朝日町1000番地		漁業			
	譲 渡 人	境 港 太 郎	境港市上道町3000番地		農業				
2 土地の所在等	土地の所在		地 目		面 積 (㎡)	土地所有者		耕 作 者	
		地 番	登 記 簿	現 況		氏 名	住 所	氏 名	住 所
	境港市上道町 字大下	1111番	畑	畑	500	境港 太郎	境港市上 道町3000 番地	同左	同左
		以下余白	耕作者がいない場合、現況が田・畑 以外の場合は、「なし」と記入						所有権→永久 賃借権等→〇年
	計	500 ㎡ (田 ㎡ 畑 500 ㎡ 採草放牧地 ㎡)						所有権移転の場合、 売買、贈与等を記入	
3 権利を設定し又は移転 しようとする契約の内容	権利の種類		権利の設定、 移転の別		権利の設定、移転の 時期		権利の存続期間		その他
	所有権		移転		令和〇〇年〇月		永久		売買
4 転用計画	転用の目的		住宅敷地		開発許可を要しない転用行為にあ っては都市計画法第29条の該当号				1号
	転用の時期		工事着工時期		令和〇〇年〇月〇日				1,000㎡未満の場 合に1号と記入
			工事完了時期		令和〇〇年〇月〇日				
転用の目的に係る事業又は 施設の概要		木造住宅 建築面積〇〇㎡ 延床面積〇〇㎡							
5 転用することによって 生ずる付近の農地、作物等 の被害の防除施設の概要		<p>付近に農地はなく、被害は生じないので防除施設は必要ありません。</p> <p>※周辺農地に被害が生じる恐れがある場合※ コンクリートブロック擁壁を設置、土砂流失を防除します。 給水は上水道、排水は既設側溝に放流します。 万一、周辺農地、作物等に被害が生じた場合は、当方で責任を 持って解決します。</p>							

(記載要領)

1. 氏名 (法人にあってはその代表者の氏名) を自署する場合には、押印を省略することができます。
2. 法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容を、それぞれ記載してください。
3. 譲渡人が2人以上である場合には、届出書の差出人は「譲受人何某」及び「譲渡人何某外何名」とし、届出書の1及び2の欄には「別紙記載のとおり」と記載して申請することができるものとします。この場合の別紙の様式は、次の別紙1及び別紙2のとおりとします。
4. 「転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、事業又は施設の種類、数量及び面積、その事業又は施設に係る取水又は排水施設等について具体的に記入してください。

(別紙1) 届出書の1の欄 当事者の住所等

当事者の別	氏名	捺印	住所	職業
譲受人	港境二郎	港境	境港市朝日町1000番地	漁業
譲渡人	境港太郎(持分1/2)	境港	境港市上道町3000番地	農業
同上	境港花子(持分1/2)	境港	境港市上道町3000番地	会社員
譲渡人、譲受人等が複数で書ききれない場合、別紙1を作成し、持分を氏名の後に()書きで記入し、届出書に続けて綴じて、割り印をしてください。				

(別紙2) 届出書の2の欄 届け出ようとする土地の所在等

譲渡人の氏名	所在	地番	地目		面積	土地所有者		耕作者	
			登記簿	現況		氏名	住所	氏名	住所
					m ²				
届出の土地が複数で書ききれない場合、別紙2を作成し、届出書に続けて綴じて、割り印をしてください。									
計	筆	m ²	(田	m ² 、畑	m ² 、採草放牧地				m ²)

(記載要領) 本表は、(別紙1)の譲渡人の順に名寄せして記載してください。